

# 三八上北の国有林



緑あふれる奥入瀬溪流（十和田市）



日本の緑・国有林

三八上北森林管理署

林野庁・東北森林管理局

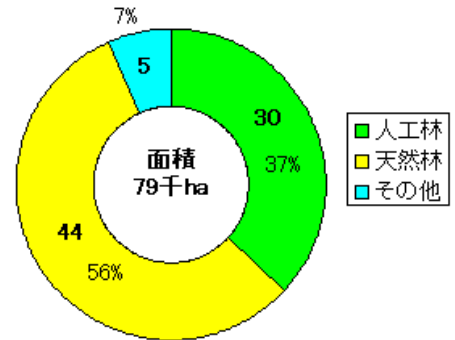
# 1 国有林の現況

三八上北森林管理署は、青森県の東部にあり、下北半島の付け根から八甲田山と十和田湖の東側を経て、岩手県境に至る、3市11町2村（三八上北森林計画区）の国有林、約79,000haを管理しています。

森林は、太平洋岸にある低山帯の防風林から、八甲田山系・高田大岳（1,552m）などの高山帯におよび、スギやアカマツの人工林の比率が4割、ブナやヒバを主体とする天然林が6割を占めています。

## <管内の市町村>

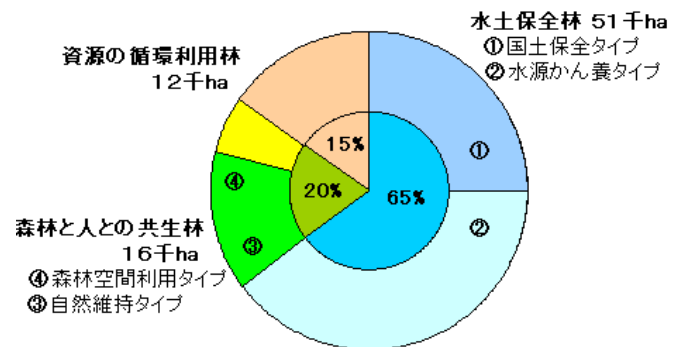
十和田湖と奥入瀬溪流の「十和田市」のほか、「八戸市」、「三沢市」、上北郡には、菜の花が特産品の「横浜町」、交通の要衝「野辺地町」、東北新幹線の駅ができる「七戸町」、風力発電の「六ヶ所村」のほか「東北町」、「六戸町」、「おいらせ町」、三戸郡には、ニンニクが特産の「田子町」のほか、「三戸町」、「新郷村」、「五戸町」、「南部町」、「階上町」があります。



# 2 森林の取扱い

国有林では森林の役割に応じて「森林と人との共生林」「水土保持林」「資源の循環利用林」の3つに分け、それぞれに応じた森林の管理・経営を行っています。

## 機能類型別の面積



## 水土保持林

土砂流出・崩壊の防備や水源かん養など安全で快適な国民生活の確保を重視する森林

## <水源林>

地域住民の生活用水や農業用水を供給する「水源林」としての役割はたいへん重要です。

今から約150年前に、三本木原（十和田市）の開拓のため、南部盛岡藩士・新渡戸傳（稲造の祖父）から3代で開削し、現在約6千haの田畑を潤している稲生川（農業用水路）は、奥入瀬川を水源としています。

## <治山事業>

この地域では、八甲田山など火山性の地質による泥流・地すべり災害、山間部での集中豪雨による土砂災害の危険があり、地域住民の安全確保のための治山工事や森林整備を行っています。



間伐材を活用した木製谷止工（十和田市・平沢）



奥入瀬川の源流

## 森林と人との共生林

貴重な生態系の維持や自然とのふれあいの場としての利用を重視する森林

八甲田山、十和田湖、奥入瀬溪流に代表される十和田八幡平国立公園、山岳・湖沼など豊かな自然を背景とした観光資源に恵まれており、四季を通じて大勢の皆さんが訪れます。

### <レクリエーションの森>

国有林では優れた景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」に指定しています。

迷ヶ平<sup>まよがだい</sup>自然休養林（407ha 新郷村・三戸町）のほか、自然観察教育林として烏帽子岳<sup>えぼしだけ</sup>（409ha 野辺地町）と鳶沼<sup>つたぬま</sup>（94ha 十和田市）、野辺地スキー場（46ha 野辺地町）、みろくの滝風景林（4ha 田子町）などがあり、地元市町村、事業者等により様々な施設が整備されています。



みろくの滝風景林（田子町）



鳶沼自然観察教育林（長沼）



幌内山国有林のブナは樹高 29m  
幹周りが 6.01m あります。  
（十和田市）

### <森林ボランティア>

国民参加の森林づくりの場として「ふれあいの森」（20ha）を設定し、様々な団体、企業の社会貢献等による森林ボランティアを受け入れています。

また「国有林クリーン作戦」では不法投棄のゴミを地元の方々の協力により片付けています。

### <森林環境教育>

三本木高校附属中学校による「遊々の森」や、小学校での森林教室など、森林を活用した教育を支援しています。



附属中学校「夢と希望の森」ブナ植樹



青森県生活協同組合連合会の「ふれあいの森」



海岸林の清掃（三沢市）

### ＜貴重な生態系の維持＞

生物多様性の維持も国有林の重要な仕事です。

原生的な自然環境の保全や貴重な野生動植物を保護するため、「八甲田山森林生物遺伝資源保存林」(3,823ha)、建築材として有名な南部アカマツの系統をくむ「横沢山甲地松植物群落保護林」(2ha)などを指定しています。

また野生動植物の移動経路などを確保するため、奥羽山脈から白神山地へ至る 70km、7,347ha を「奥羽山脈緑の回廊」と「白神八甲田緑の回廊」に指定しています。



横沢山甲地松植物群落保護林（東北町）



高田大岳（八甲田・十和田市）



保護林のパトロール

### 資源の循環利用林

環境への負荷が少ない自然素材である木材の効率的な生産を重視する森林

再生産可能な森林資源を利用するため、公益的な機能の発揮に配慮しつつ、安定的で効率的な木材生産を進めています。

また地球温暖化対策のため森林吸収源を確保し、森林を健全にするため、間伐の推進や林道の整備など、「美しい森林づくり」に取り組んでいます。

地域の林業関係者が参画する「三八・上北流域林業活性化センター」を中心に、木材利用の推進や林業技術の向上にも取り組んでいます。



列状間伐の検討会



フォワーダ（集材）とグラブプル（荷卸）

### ＜国有林の活用＞

国有林野を活用して、風力発電所（六ヶ所村）や送電幹線（東北電力）などが建設されています。



風力発電（六ヶ所村）

平成22年度主要事業量（当初）

伐採量

m<sup>3</sup>

立木販売・保育間伐ほか			製品生産資材			計		
主伐	間伐	計	主伐	間伐	計	主伐	間伐	計
46,236	23,774	70,010	195	83,079	83,274	46,431	106,853	153,284

製品（丸太）販売量

m<sup>3</sup>

公 売	委託販売	システム販売	計	(当年度生産量)
0	36,603	14,810	51,413	(47,000)

造林量

h a

新植	下刈	除伐	保育間伐
85	200	226	270

組 織

【本 署】（十和田市）

【森林事務所・森林官】（所在地）電話番号

署 長	奥 瀬	（十和田市奥瀬）	0176-72-2120
次 長	法 量	（ // ）	//
流域管理調整官	八 溪 山	（ // ）	//
森林整備部企画官（駐在）	十和田	（ // 休屋）	//
総務課	横 沢	（野辺地町）	0175-64-2180
└ 総務係	野辺地	（ // ）	//
└ 経理係	室ノ久保	（六ヶ所村鷹架）	0175-74-3703
業務一課	乙 供	（東北町ほとけ沢）	0176-68-2149
└ 技術専門官	北坪川	（七戸町森ノ上）	//
└ 経営係	七 戸	（ // 笹田）	0176-62-2945
└ 森林ふれあい係	横 浜	（横浜町屋敷形）	0175-78-2212
└ 管理係	六ヶ所	（六ヶ所村尾駱）	0175-72-2036
業務二課	田 子	（田子町田子）	0179-32-3311
└ 森林育成係	猿 辺	（三戸町貝守）	0178-78-2014
└ 販売係	戸 来	（新郷村戸来）	//
└ 土木係			
治山課			
└ 治山第一係			
└ 治山第二係			

斜線は空きポスト

【 職員数 】

平成22年4月1日現在

本署（十和田市）	森林事務所	基職・常用	計
19	11	4	34

三八上北森林管理署の歴史

明治14（1881）年 農商務省山林局設置

19（1886）年 青森大林区署五戸派出所として開庁、明治25（1892）年 奥瀬小林区署と改称

40（1907）年 法量小林区署、五戸小林区署と合併し、三本木小林区署と改称

大正 3（1914）年 現在地に庁舎建造

13（1924）年 官制が改められ青森営林局三本木営林署と改称

平成11（1999）年3月1日 組織再編により三八上北森林管理署と改称し、野辺地営林署を野辺地事務所に、三戸営林署を三戸事務所に改組

13（2001）年8月1日 組織の再編により野辺地事務所及び横浜森林管理センターの一部を統合し、三八上北森林管理署及び三戸事務所に再編

16（2004）年3月31日 組織再編により三戸事務所を統合

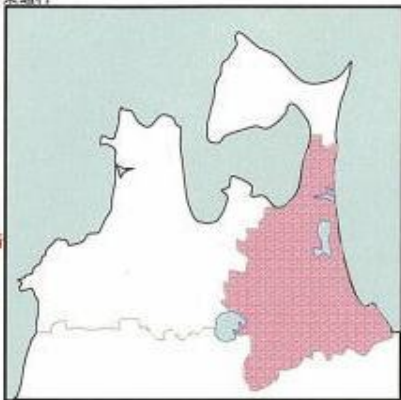
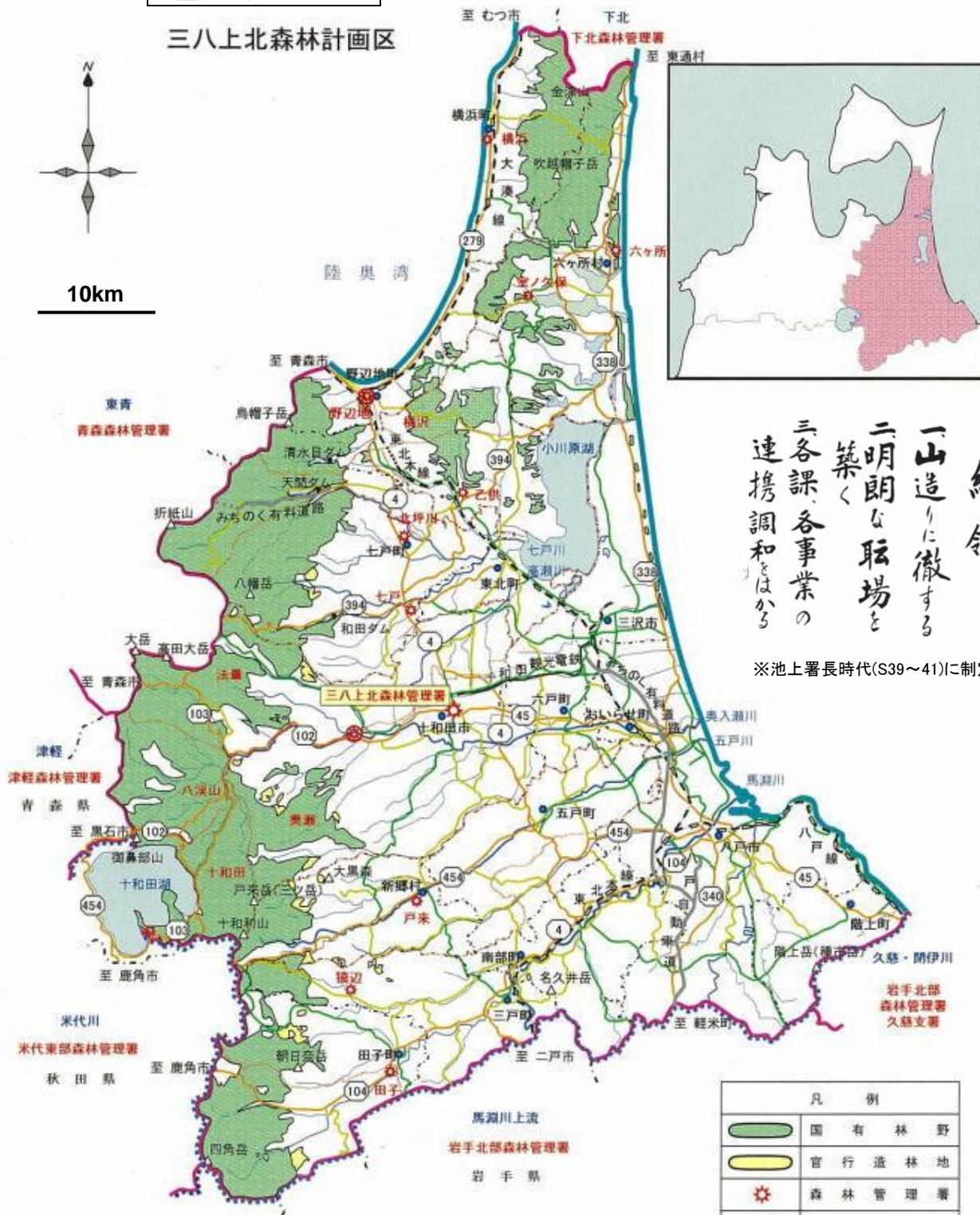
19（2007）年2月 庁舎建て替え

# 管内図

## 三八上北森林計画区



10km



綱領  
一山造りに徹する  
二明朗な職場を築く  
三各課、各事業の連携調和をはかる

※池上署長時代(S39~41)に制定

凡 例	
	国 有 林 野
	官 行 造 林 地
	森 林 管 理 署
	森 林 事 務 所・合 同 事 務 所
	森 林 計 画 区 界・署 界
	県 界
	市 役 所・町 村 役 場
	市 町 村 界
	国 道・県 道・そ の 他 道
	森 林 事 務 所 界

三八上北	森 林 計 画 区 名
	市 役 所・町 村 役 場
	国 道・県 道・そ の 他 道



三八上北森林管理署

〒034-0082 青森県十和田市西二番町 1-27  
 電話 0176-23-3551 FAX 0176-24-2020  
 メール : t\_sanpachi@rinya.maff.go.jp  
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/sanpati/>